

令和5年第11回

北広島市教育委員会会議録

日時：令和5年10月3日（火）

15時00分～16時00分

場所：市役所1階多目的室

○目 次

開会宣言	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
日程第1	会議録署名委員の指名・・・・・・・・	1
日程第2	教育長報告・・・・・・・・	1～2
日程第3	報告第1号 教育長の臨時代理に係る報告について・・・・・・・・	2～3
	報告第2号 教育長の臨時代理に係る報告について・・・・・・・・	3
	報告第3号 教育長の臨時代理に係る報告について【非公開】・・・・・・・・	3～4
	議案第1号 北広島市教育施策審議会委員の委嘱について【非公開】・・・	4
議案第2号	令和5年度北広島市スポーツ賞等受賞者について【非公開】・・・・・・・・	4～7
	令和5年度北広島市文化賞等受賞者について【非公開】・・・	7～8
議案第4号	令和5年度全国学力・学習状況調査の結果公表について・・・	8～14
日程第4	そ の 他 次回の教育委員会の日程について・・・・・・・・	14～15
閉会宣言	・・・・・・・・・・・・・・・・	15

出席者	教育長	吉田孝志	説明員	教育部長	吉田智樹
	教育委員 (教育長職務代理者)	成田郁久美		教育部理事	鹿野秀一
	教育委員	石上浩子		教育総務課長	河合一
	教育委員	高山隆二		教育総務課参事	永坂隆之
	教育委員	宮北早苗		学校教育課長	川又洋火
				社会教育課長	渡辺広樹
傍聴人	なし		文化課長	若澤路子	
			文化課参事	笹森和宏	
			エコミュージアムセンター長	渡邊篤広	
			学校給食センター長	岡謙一	
			防災食育施設整備担当参事	伊達千秋	
			記録員	教育総務課主事	宮越裕斗

開会 15時00分

( 議 事 の 経 過 )

---

◎開会宣言

○吉田教育長 ただいまから、令和5年第11回教育委員会会議を開会いたします。議事日程につきましては、お手元に配付のとおりであります。

---

◎日程第1 会議録署名委員の指名について

○吉田教育長 日程第1、会議録署名委員の指名を行います。本日の会議録署名委員として、成田委員を指名いたします。

○吉田教育長 日程第2に入ります前に、本日は、報告第3号及び議案第1号から第3号が教育委員会会議規則第16条第1号に該当いたしますことから、非公開とさせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○吉田教育長 異議なしと認め、報告第3号及び議案第1号から第3号につきましては、非公開いたします。

---

◎日程第2 教育長報告について

○吉田教育長 日程第2、教育長報告に入らせていただきます。

○吉田教育長 今回は、教育長報告として2点、報告させていただきます。

まず始めに、寄附についてであります。北広島市建設業協会(会長 富田辰夫)様から、子ども達の育成のため学校図書購入費として活用してほしいとの申出があり、9月16日(土)に15万円の寄附をいただいたところであります。

寄附金につきましては、令和5年第4回市議会定例会において、図書購入費寄附金として補正予算案を提案する予定としており、議決後、有効に活用したいと考えております。

次に、寒地稲作成功150周年記念事業記念フォーラムについてであります。これまでに記念事業としまして、北広島商工会のご協力のもと市内に横断幕を2か所、市役所本庁舎に懸垂幕を設置、西部地区の小中学生5名を久蔵翁のふるさとである太子町へ派遣をした研修交修事業、夏の旧島松駅通所ライトアップの際の西部中学校合唱部の皆さんによるミニコンサート、お米や赤毛に関する食農教室やバスツアーを実施してきたところであります。

9月23日(土)には、北広島市芸術文化ホールにおいて、寒地稲作成功150周年記念実行委員会との共催により、「中山久蔵翁、明治の寒地稲作挑戦から日本が誇る米どころへ」と題しました記念フォーラムを開催し、オープニングイベントとして花笠笠踊り、広島音頭、相撲甚句を披露していただいたのち、久蔵翁のふるさとである大阪府太子町に派遣した西部小中学校の生徒から報告を受け、郡司美枝様に基調講演をしていただき、打越孝明様、藤田久雄様、遠藤卓也様より中山久蔵翁の事績、赤毛米、島松沢の未来に関するリレートークを行い、247名の参加があったところであります。

今後につきましては、久蔵翁を題材としたマンガの作成、令和6年2月に芸術文化ホール開館25周年事業として、久蔵翁をテーマとした、市民参加による創作劇の公演などを予定しているところであります。

○吉田教育長 以上、教育長報告として2点報告させていただきました。皆さんからご質問等ございますか。

(「なし」の声あり)

○吉田教育長 それでは、教育長報告につきましては、承認とさせていただきます。

---

◎日程第3 報告第1号 教育長の臨時代理に係る報告について  
(防災食育センター新築工事の内建築主体工事の請負変更契約)

○吉田教育長 続きまして、日程第3、議事に入ります。報告第1号、教育長の臨時代理に係る報告につきまして、事務局から説明をお願いいたします。

○河合教育総務課長 報告第1号、教育長の臨時代理に係る報告についてであります。市長から意見を求められた市議会第3回定例会提出議案に係る意見の申出について、北広島市教育委員会事務委任等規則第3条の規定により教育長が臨時に代理したので、同規則第4条第2号の規定に基づき、教育委員会に報告するものであります。

臨時代理した内容につきましては、議案書3ページのとおりであり、防災食育センター新築工事の内建築主体工事の請負変更契約について、この工事は、令和4年7月1日に岩田地崎・和泉特定共同企業体と契約を締結し、現在工事を進めているところであります。本年3月分から公共工事設計労務単価が改訂されたことに伴い、技能労働者への適切な賃金水準を確保するため、工事請負契約書第25条第6項の規定に基づき、契約金額を4,777万3千円増額し、総額12億8,967万3千円に変更するものであります。

当議案につきましては、9月28日に議会の議決を頂き、本契約を交わし、工事を進めているところであります。以上であります。

○吉田教育長 ただいまの報告第1号、教育長の臨時代理に係る報告につきまして、ご質疑等ございますか。

(「なし」の声あり)

○吉田教育長 それでは、報告第1号につきましては、承認とさせていただきます。

---

報告第2号 教育長の臨時代理に係る報告について  
(財産の取得)

○吉田教育長 続きまして、報告第2号、教育長の臨時代理に係る報告につきまして、事務局から説明をお願いいたします。

○河合教育総務課長 報告第1号、教育長の臨時代理に係る報告についてであります。市長から意見を求められた市議会第3回定例会提出議案に係る意見の申出について、北広島市教育委員会事務委任等規則第3条の規定により教育長が臨時に代理したので、同規則第4条第2号の規定に基づき、教育委員会に報告するものであります。

臨時代理した内容につきましては、議案書4ページのとおりであり、このたびの財産の取得は、防災食育センターの供用開始に合わせ厨房備品及び消耗品を購入するものであります。

当議案につきましては、9月28日に議会の議決を頂き、本契約を交わし、事務を進めているところであります。

以上であります。

○吉田教育長 ただいまの報告第2号、教育長の臨時代理に係る報告につきまして、ご質疑等ございますか。

(「なし」の声あり)

○吉田教育長 それでは、報告第2号につきましては、承認とさせていただきます。

---

報告第3号 教育長の臨時代理に係る報告について【非公開】  
(令和5年度北広島市文化賞等の受賞者の選考内容の変更)

【非公開案件の審議等の結果】

原案どおり承認した。(質疑等省略)

---

◎議案第1号 北広島市教育施策審議会委員の委嘱について【非公開】

【非公開案件の審議等の結果】

原案どおり承認した。(質疑等省略)

---

◎議案第2号 令和5年度北広島市スポーツ賞等受賞者について【非公開】

【非公開案件の審議等の結果】

原案どおり承認した。（質疑等省略）

---

◎議案第3号 令和5年度北広島市文化賞等受賞者について【非公開】

【非公開案件の審議等の結果】

原案どおり承認した。（質疑等省略）

---

◎議案第4号 令和5年度全国学力・学習状況調査の結果公表について

○吉田教育長 続きまして、議案第4号、令和5年度全国学力・学習状況調査の結果公表につきまして、事務局から説明をお願いいたします。

○川又学校教育課長 議案第4号、令和5年度全国学力・学習状況調査の結果公表についてであります。本市の調査結果について、別冊3のとおり公表したいので、北広島市教育委員会事務委任等規則第2条の規定に基づき、教育委員会の議決を求めるものであります。

それでは令和5年度全国学力・学習状況調査、北広島市の調査結果について説明させていただきます。別冊3をご覧ください。

はじめに、報告書の内容について説明いたします。目次をご覧ください。最初に、今年度調査の概要・内容について、次に調査結果分析の留意点、続いて、市内小学校、中学校の学力部分の結果の概要、学習状況における質問紙及びクロス集計の結果、最後に総評として、結果のまとめを掲載しています。

それでは説明いたします。1ページをご覧ください。

今年度の全国学力・学習状況調査ですが、小学校は国語、算数の2教科、中学校は、国語、数学、英語の3教科にて、4月18日（火）に実施されました。

2ページをご覧ください。

調査結果については、平均正答率において北広島市と全国・全道との比較となっており、数値については本調査の目的、実施要領の配慮事項を鑑み、本市では公表していません。調査結果の表示は、平均正答率との比較を、ポイント差で表し、9ポイント以上を高い、3ポイント以上をやや高い、-9ポイント以上を低い、-3ポイント以上をやや低い、プラスマイナス2.9ポイントの間については、同様としています。なお、全国平均正答率との比較を明確にするため、同様の表記で、0～+2.9を青字、-2.9～-0.1を赤字で表しています。

それでは、北広島市の結果について説明します。3ページをご覧ください。

北広島市の小学校は、平均正答率において、国語・算数とも全国平均正答率と同様の状況です。国語は全国平均正答率を若干上回っています。

4ページより、教科の全体的な傾向となります。

国語は、学習指導要領の領域の「知識及び技能」「思考力判断力表現力」とともに、全国と同様となっています。全道と比較すると、すべての領域で、平均正答率を上回っています。「書くこと」の領域については、全国・全道・北広島市とも平均正答率が25%前後と低く課題がみられます。

5ページは、全国平均正答率と比して、3ポイント以上上回った問題、3ポイント以下下回った問題、正答率が30%を下回った問題、無回答率について取り上げています。図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することを苦手としている傾向があります。

無回答率は全14問中11問で全国無回答率を下回っており、そのうち3問は0%であり、良い状況にあるといえます。

6ページは算数です。領域別では「数と式」、問題形式では「記述式」がやや低くなっています。その他については全国平均と「同様」となっています。全国平均正答率と比して下回った問題のほとんどが「記述式」「短答式」となっており、課題であると捉えています。無回答率については、記述式の問題で1問、全国と比べやや高くなっています。

次に中学校の結果について説明します。8ページをご覧ください。

北広島市の中学校は、全国、全道と比べ、国語、数学、英語とも「同様」の状況でした。

9ページより、教科の全体的傾向となります。

国語は、全ての領域、問題形式で全国平均正答率を若干上回っています。平均正答率が全国より3ポイント以上下回った問題が1問だけあり、文脈に即して漢字を正しく書くことができるかどうかを見る問題でした。無回答率については、小学生同様よい状況にあるといえます。

数学は、全国平均正答率との比較では、「数と式」「図形」「関数」については全国とほぼ同様でやや上回っています。「データの活用」についてはやや低くなっています。

「図形」については、全国・全道・市内とも平均正答率が35%前後と低くなっており課題となっています。問題形式では選択式、短答式、記述式とも、全国とほぼ同様となっています。

英語は、全ての領域で全国平均とほぼ同様の正答率といえます。領域別では「読むこと」のみ全国平均正答率をやや上回っていますが、他の2領域は全国平均をやや下回っています。

「書くこと」「話すこと」については、全国・全道・市内とも平均正答率が25%以下となっており課題となっています。また、無回答率についても「書くこと」の領域で25%を超える問題が2問ありました。

次に質問紙から、北広島市の児童生徒の生活・学習環境の状況を報告します。

15ページをご覧ください。

小学生について、質問に対する肯定的な回答が全国平均を上回ったものから、全体的な傾向をまとめると、北広島の小学生は「自分で計画を立てて勉強している」「将来の夢や目標をしっかりと持っ

ている」「いじめは絶対に許さない」「授業中、課題に対し自分で考え、自分で取り組む」となります。

生活習慣等では全国より下回り、課題としていかなければならない項目として、「学校に行くのは楽しいと思う」「友人関係に満足している」がやや低く、「1日当たり、家庭学習を2時間以上している」が低いことが挙げられます。

自分の理解と周囲への意識では、「将来の夢や目標を持つ」「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」「自分にはよいところがある」「先生は、自分のよいところを認めてくれている」と答えた児童が、全国よりも高くなっています。

授業や教科の学習では、タブレット等の「授業におけるICTの使用」は全国より高くなっていますが、昨年同様「算数の勉強が好きだ」が低くなっています。

17ページからは、中学生についてです。全体的にまとめると、北広島の中学生は、「毎日読書をしている」「将来の夢や目標を持っている」「自分の良いところを見つけている」「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思っている」となります。

項目別にみると、生活習慣等では小学生同様、家庭学習を1日2時間以上している生徒が少ないことが課題となっています。「学校に行くのは楽しいと思う」「友人関係に満足している」については、全国平均よりも高くなっています。

自分の理解、周囲への意識では、小学生同様「将来の夢や目標を持つ」「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」「自分にはよいところがある」「先生は、自分のよいところを認めてくれている」と答えた生徒が、全国よりも高くなっています。

授業や教科の学習では、「英語の勉強が好きだ」が低くなっています。

19ページからは、学校質問紙の結果となっています。これは、学校の取組への質問で、管理職が答えたもので、この結果より取り組みに対する学校の意識を把握することができます。

「主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善」「個別最適な学び（個に応じた指導）、協働的な学びに関する状況」については、どの項目も全国、全道と比較し、肯定的な回答の割合が高くなっており、各学校で積極的に取り組みを進めている状況にあります。

ICTを活用した学習状況については、授業における使用率は全国を上回っていますが、端末の家庭への持ち帰り状況は全国より低くなっています。また、個別最適な学び（個に応じた指導）や主体的・対話的で深い学びにおけるICTの活用状況等においても全国より若干低くなっており、より効果的な活用が課題となっています。

「小中教育課程の接続」「コミュニティ・スクール」が全国を大きく上回っており、北広島市が進めてきた小中一貫教育の取り組みの成果の現れであると思われます。

24ページからは、クロス集計の結果となっています。クロス集計は、学力と生活習慣・意識の相関関係を探るために行っています。一例を示すと「授業で学んだことをほかの学習で生かしていますか」の質問に対し、上の66.4が「当てはまる」と回答した児童の平均正答率が「60.5」、下の30.8が「当てはまらない」と回答した児童の平均正答率が「40.5」となっており、その差が



約25ポイントとなります。この幅が大きいほど関係が深い、関与性が高いということになります。小・中学校で共通している項目として、学習面では「授業で、課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組む」「分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげる」が、学力に大きく関与していることがわかります。これを踏まえた上で各学校での授業改革の取組が必要となります。

生活面では、「朝食を毎日食べている」「家に100冊以上の本がある」などの項目が学力との間に大きな相関関係がみられました。

本年度の全国学力・学習状況調査の結果については、小学校、中学校とも全国と「同様」の結果でした。小学校については一昨年、国語・算数とも全国平均を下回りましたが、この2年間でほぼ全国と同様まで改善が図られました。

中学校は昨年、全教科で全国平均を下回りましたが、今年度は、国語、数学で全国と同様となり改善が見られました。

小学校の算数については、改善は見られますが、全国平均には届いてはおらず、各校における各種調査結果分析を踏まえた、学力向上対策、授業改善等をさらに進めていく必要があります。

中学校の英語については、「書くこと」に課題があり、小中一貫教育を進める中で、各中学校区共通の課題として捉え、小学校高学年の英語の授業から「書く力」を高めるための授業改善を徹底していく必要があります。

さらに市内各学校間での学力差に課題がみられます。特に中学校では、それが顕著に見られています。諸調査での小学校2年生から中学校3年生までの経年変化をみると、小2段階では学校間での差はほとんどみられませんが、その差が徐々に開いていく状況にあります。市内全ての学校において、諸調査・全国学力学習状況調査の結果を真摯に受け止め、「何ができないのか」「何ができているのか」「何を学ばなければならないのか」一人ひとりの子どもたちの学力の状況を焦点化し、全教職員の共通理解と協働により、各学校における全ての子どもの学力を保障する「授業改革」を進めていかなければなりません。

以上が令和5年度全国学力・学習状況調査、北広島市の調査結果報告となります。

以上が提案の内容であります。

○吉田教育長 ただいまの議案第4号、令和5年度全国学力・学習状況調査の結果公表につきまして、ご質疑等ございますか。

概略はつかんでいただいたと思うのですが、今年のことだけ言えば、小学校は算数が全国並みとはいえ、少し下振れしており、中学校は、昨年全国平均より少し下振れしていましたが、回復して全国並みとなったということです。あまり大きな差ではありませんので、一喜一憂する必要はないと思いますが、微妙に変化しているという報告であり、領域別の分析もあって、弱いところ、強いところについても数値の分析がされていたと思います。また、質問紙で、学校が楽しいかという質問のところで、少し下がっているところがあったということですよね。ただ、自尊感情や社会への貢献というところは高くなりました。夢ノートなどの取組の影響もあるのかなとは思っているのですけ

れども、そのような内容でデータを公表したいということです。

また、公表の方法については、最初にお話があったとおり、そのままの数字をただ出すのではなく、ポイント差について区切りをつけて、この範囲にいますよという少し幅を持った公表の仕方をさせていただきたいということで、例年と変わりはありません。

○高山委員 3ページの下折れ線グラフと、8ページ、中学校の下にあります折れ線グラフについて、それぞれ令和元年度、3、4、5というような流れが示されているのですが、小学校も中学校もおおよそ角度としては令和4年度よりは全国平均に寄っていているという流れは分かります。それで、例えばコロナの状況でこういうカーブ、角度というのは大体他の市町村も似たような形であったのか、それとも市町村によって角度はそれぞればらばらであるのか、お聞きしたいです。

○吉田教育長 令和3年、4年はコロナの影響があった期間でしたので、その辺りについて、他の市町村と比べても、できたり、できなかったり何か影響があるのですかというような質問だと思うのですがいかがでしょうか。

○鹿野教育部理事 コロナが収まったあとの他市町村や、道、国の経年変化についての部分の分析については、今の段階ではまだそこまで踏み込んだ分析はできていないところでもあります。

○吉田教育長 市町村では、まだ発表していないところもあつたりしますね。

○高山委員 令和元年、3年、4年というのは、そのような流れによって似たようなカーブを示していたのか、どこも同じように3年、4年度あたりはぐっと下がっていて、そこから各市町村右肩上がりになっているか、状況が気になったところです。中学校と小学校は角度が少しずれたりしているので、なかなか判断が難しいなとは思いつつ、5年度ではそれぞれコロナの影響から落ち着きながら、学校の中も落ち着いて、そのような流れになっていければ良いなという希望的な思いがあつて伺つた次第です。

もう1点お聞きしたいのですが、後ろの質問紙の方は、今日ちょうどタブレットを見させてもらったのですが、21ページ、22ページ辺りの色合いを見るとピンクがどんと多くて、これは低いということではないのでしょうかけれども、北広島の特色が出ている部分もあるのかなと思つました。ざっと見たときに、ICTやタブレットの利用の部分はもう少し、各学校差というのはあるのでしょうか。こういうグラフにしたときには全部まとまってしまうので気になりました。

○吉田教育長 今のご質問は、21ページの63と71のところはピンクとなっているところが長いのですが、端末を家庭に持ち帰らせて、どの程度使っているかということだと思つたのですけれども、この辺りについて何かコメントありますか。

○鹿野教育部理事 実は、家庭への持ち帰りについては、昨年度まではほとんどの学校は持ち帰らせていなかった状況があります。今年度に入って、校長の判断でできるようになりましたが、家庭にただ持ち帰らせても効果がないので、持ち帰らせて何をさせるか、家でどういう家庭学習をするのか、そういう整備をしっかりとした中で持ち帰らせましょうということでスタートしたものですから、昨年度まではほとんど持ち帰らせることはなかったという現状であります。その結果が北広島は持ち帰らせての家での利用は限りなくゼロに近づいているので、これは顕著な結果であると思つてい

ます。この後、恐らく来年度の結果とかを見ていくと、少しずつ、持ち帰らせて家で取組むというのは増えていくような結果が出るのかなと思っています。

ちなみに、ほとんどの学校が夏休み期間中は持ち帰らせて家庭での学習に役立てさせたということ、2学期になってからは、中学校が多いのですけれども、週末だけでも持ち帰らせようという形で、どんどん家で使わせるという学校が増えてきているという状況であります。

○高山委員 この公表内容に、夏休みについてはデータに表れているのでしょうか。

○鹿野教育部理事 これは4月、5月の結果なのでまだ表れていません。

○高山委員 分かりました。

○吉田教育長 そのほかに何かご質問はありますか。

○成田委員 最後の総評のところにもあるのですけれども、各学校間での学力差が毎年結構出てくると思うのですけれども、その学校間でいつも同じ学校が、例えば低いとか高いとかがもしあるとすれば、授業改善とかそういうものについて、今日も会議前に学校へ視察に行かせてもらい、すごく分かりやすく、良い授業をされているなどとても感じたのですけれども、それだけではなくて、違うアプローチをしていかないといけないのかなとちょっとと思っています。例えば私はずっとスポーツをやっていますが、結構いろいろな研究で運動、特に小さい子では、体を動かすことと、学力差というのはやはり関連ある、関係があるというのが結果として出ているのです。そういう違う方面からの改善というような、先生方の努力だけではなくて、例えば行政側としても小学校のうちからもう少し体を動かすことをやってみようなど、そういうこともしていけると、きっと良いのかなと思いました。

○吉田教育長 学校間の学力差が固定化しているのかということと、仮にそうであるなら行政的な対策等の情報があるのかという質問です。

○鹿野教育部理事 成田委員が言われるとおりで、勉強だけでなく、他の生育状況や、家族の状況、地域でどのような生活をしているかというのは、当然学力に影響を及ぼしているのだろうとこちらでも押さえています。

もう一点、今日、大曲中学校の授業を見ていただいたら分かったように、分かりやすい授業で、子どもたちは、そのときは理解していると思われま。ほとんどの学校で、授業を受けたときに理解はするのですけれども、それが学校間によって定着まで図られている学校と、定着までいっていない学校がどうもあるのではないかなと思っています。先ほどお話しさせていただいたタブレットを家に持ち帰ってタブレットを学習に使う習慣であったり、家庭で親と一緒に何かを学ぶ環境をつくって集中した学びをしていくとか、あと復習に重点を置くとか、予習に重点を置くとか、そういういろいろな要素がからみ合って定着までいっていないのかなと押さえているので、家庭学習の時間も2時間以上やれば良いというものではなくて、どうやって計画的に自分の実になるような学習ができるかということも併せて課題なのかなと押さえているところです。具体的にどう手だてをすれば良いかということにつきましては、これからもう少し検討させていただければと思います。

○吉田教育長 激励のお言葉であったかと思います。また、行政的にできるとしたら、加配を持ってき

て、少しでも特色ある専科の教諭を入れるなど、道の配分の中でやっているの、思うようにはいかないのですけれども、そういう加配措置について頑張るといのも必要でありますし、多様なプッシュ点があると思うのです。その辺りについて、成田委員からお話があったように体力向上も実はつながっているということも視点としてはあると思うので、宿題として受け止めます。

○鹿野教育部理事 何でもそうですけれども、時間の使い方についても、上手に使える子と上手に使えない子は、運動とも関係しています。運動した後、帰ってすぐ寝てしまう子と、勉強は大事だから1時間でもいいからしようといっ、しっかりやってから寝る子と、これも大分差が出るとこだと思います。

○成田委員 そうですね。今の子どもたちを見ていると、習い事だったり塾だったり、スケジュールが詰まって忙しいのだと思います。その上で時間配分がうまくできる子、できない子の差が結構あるなというのは見ていて感じます。

○鹿野教育部理事 大人でもタイムマネジメントができない人たちも出てきているので、そのとおりであると思います。

○吉田教育長 今年度の全国学力・学習状況調査の結果について言えば、おおむね全国並みだろうというところまではきていますが、その中でも課題はその中でもあるという捉え方をしているということです。

そのほか何かございませんか。

(「なし」の声あり)

○吉田教育長 それではお諮りいたします。議案第4号、令和5年度全国学力・学習状況調査の結果公表につきまして、原案のとおり決してよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○吉田教育長 議案第4号につきましては、原案のとおり決することとします。

---

#### ◎日程第4 その他

○吉田教育長 日程第4、その他につきまして、事務局から、説明をお願いいたします。

○鹿野教育部理事 事務局から、次回の教育委員会の日程についてお諮りいたします。

次回第12回教育委員会会議についてであります、11月2日(木)、時間は15時00分から、市役所1階多目的室で開催させていただきたいと思います。

議案としましては、市議会定例会提出議案について等を予定しております。

以上であります。

○吉田教育長 次回は、11月2日(木)、時間は15時から市役所1階多目的室で開催ということで皆さまよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

---

◎閉会宣言

○吉田教育長 以上で第11回教育委員会会議に付議された議事は全て終了いたしましたので、これにて閉会いたします。本日はご苦労さまでした。

16時00分 閉会

以上、会議を記録し、正確を期するためにここに署名する。

教 育 長

\_\_\_\_\_

署 名 委 員

\_\_\_\_\_